# 九大百年の歴史を憶う 平成23年度文学部同窓会総会開催

平成23年8月27日(土)午後2時より箱崎 有の惨事は、やはり企画する私たちの心 写真パネル展示会を催すことと相成りま 早くから企画を練り、通常の総会に加え 百周年を記念すべく、文学部同窓会でも ルで開催しました。本年は九州大学創立 の九州大学中央図書館新館・視聴覚ホ およそ無縁な、おのずと各自が、しんみり に、言いようのない影を落としていたの した。とはいえ、東日本大震災という未曾 て、文学部との共催で特別記念講演会と と、懐旧の情を共有できる集いの場となり 文学部同窓会では、平成23年度総会を しょうか。当日は、所謂お祭り騒ぎとは

現在にいたる文学部の歩みをそれぞれの 高木彰彦文学部長のご挨拶は、過去から 総会の冒頭での船津正明会長、つづく



経験の意義を私たちに改めて自覚させる へん優れた内容でありました。 たいと私たち同窓生に意欲させる、たい 生へのこのような支援を継続し、拡充し 奨学会の奨学金を授与することができま 武由彩さん(社会学専修)に文学部同窓会 院生、奥野新太郎君(中国文学専修)と吉 に触れられたことも心に残りました。厳 への支援という見地から同窓会の在り方 しい財政状況のなか、今年も2名の大学 ものでした。期せずしてお二人が、在学生 お立場から顧み、文学部で学んだという したが、彼ら俊秀の研究発表もまた、在学

そして文学」という演題でお話しいただ 合った28年、その間の困難と喜怒哀楽が きました。教育者として高校生と向かい 海老井悦子氏をお招きし、「教育、行政・ 特別記念講演会では、福岡県副知事の

> 葉し、海老井氏の人生哲学へと変わるさ 拝聴しながら、恩師の言葉が鮮やかに紅 沢賢治の文学に見出せたそうで、お話を るなかで、ご自分なりの解釈を、芭蕉や宮 海老井氏は以来ずつとその含意するとこ る言葉に巡り会ったというくだりです。 には、泣くことができる」という含蓄のあ なわち故中村幸彦先生(国文学)の「文学 切実な問いを抱き、それに対する解答、す 生時代に「文学に何ができるのか」という が窺い知れました。とりわけ感銘深かつ 成を生き甲斐にされてきた篤実なお人柄 ひとりの個性を大切にし、彼らの夢の育 まを目にするかのような感動を覚えました。 ろを自問しつづけ、様々な経験を積まれ たのは、かつてご自身が九大文学部の学 まざまざと思い浮かぶお話ぶりで、一人

な資料を多数展示することができ、過ぎ の卒業論文を始めとする、九州大学文書 創立百周年を記念して制作された写真パ 感慨深いものとなりました。本企画では、 館ならびに文学部歴史編纂室所蔵の貴重 鮮の文芸評論家、金煥泰(キム・ファンテ) ネルの数々と、「九州帝国大学新聞」や朝 でみる九大百年」の写真展示は、ひときわ 講演会の余韻のうちに観覧した「写真



福岡県副知事の海老井悦子氏

文学部歴史編纂室の皆様にはこの紙面を 央図書館の堀優子氏、大学文書館並びに 方々にご来場いただくことができまし たが、梶山千里前総長をはじめ、大勢の 展示が当日限りなのは誠に惜しまれま ていただけたのではないかと思います。 激動の時代を含めて、心ゆくまで回顧 厚な歩みを、両次大戦や大学紛争などの た。ご尽力賜りました、高木文学部長、中 去った九大百年の歴史を、その多彩で重 して深謝申し上げます。

別な時間が流れておりました。 大河に身を浸した幸福感がもたらす、 つつまれた会場には、九大の歴史という いでしょう。たしかに、和やかな雰囲気に 様については、もはや詳述するまでもな 福岡リ セントホテルでの懇親会の模 特

文学部同窓会副会長

### 九州大学東京同窓会、 Summer Festa2011



れまでの会のレ 名で企画・推進 思われた。幸い理 道修正が必要と なる発展のため に、いくらかの軌 き、平成卒10余 会にもご賛同 ムを結成。こ

討議した。 ビューをすると共に、同窓会のあり方を |基本コンセプトと目指すも

する会を目指した。 の世代が楽しめる会、楽しむ・学ぶ・発見 ことと定義。新卒からベテランまで全て 交流を通じ人脈を拡げ人間力を高める とは、旧交を温めることに加え、会での ムで辿り着いた同窓会のあり方

## ■8月24日当日のパーティ

これまでのビアパーティーという呼称

光雄

(昭和46年法学部卒)

参加申込みを受け、女性比率も15%とこ 更。内容も推進チームで纏めたコンセプ れまでにない数となった。 ブタイトルにつけた"100の絆"を目 はSummer Festaに、会場も青山に変 を少しでも表現しようと、又、会のサ し腐心した。この結果、370名もの

設立から7年。先

東京同窓会も

の笑顔を見ると、仕事も忙しい中、この 史"という自作のムービーが大好評で た思いであった。 あった。会も終わり退場していく同窓生 の冒頭に流した"九大100年の にビデオメッセージを頂いた。中でも会 田さんにもヒューストンから急遽この為 けたのではないだろうか。JAXAの若 もと、世代を超え老若男女が楽しんで頂 れた推進メンバ ーティーの為に労力を割いて尽力して 会場では九大卒という一つの切り口の も苦労が報いられ 歴



### 平成23年 関西同窓会総会· ビアパ ーティ

月25日(月)、関西同窓会がハ 参加して開催されました。 ル北梅田にて、約100名の同窓生らが 期されました。そうした中、平成23年7 大震災が発生し、大学での記念行事が延 わが校百周年の記念の年に、未曾有の

28法卒、(財)京都文化財団理事長、元京都府 とでした。総会では、この同窓会設立時か のために予定を変更して参加したとのこ 龍子さん(昭4法卒)による講演会が行わ 知事)が退任され、新たに、会長代行の上野 ら会長をしていただいた荒巻禎一さん(昭 いての解説に、参加者は熱心に耳を傾けて れ、ご自身の体験談や、裁判員制度などにつ ました。法学部の後輩の一人はこの講演

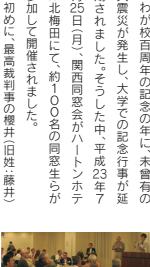
止まず、アンコー

ルの声がでていました。



ーティ

では、最初に上野 の様々な取り組み 年を機にした九大 節夫総長が百 拶を、その後、有 会長から新任の挨 周



Bによる「夏」をテーマにしたコンサ 懇談が始まり も行われ、清涼感溢れる歌声に拍手が鳴り ました。コールアカデミーの 荒巻名誉会長の乾杯で、 ただきました。そして はじめ幹部の参加を 英俊理事、今泉勝己理事 大学からはほかに、落合 思いをお話されました。 やこれからについて熱い

の報告などもあり、世代を超えた交流を深 報告、また、この同窓会での縁がきつかけで さん(昭57経卒)で、様々な年代の同窓生に なって、このヤングパワーが、昭和年次卒業 めました。平成年次卒業生の参加者も多く 結婚に至ったという喜ばしい、ご本人から 生と互角に壇上を賑わせていました。 ました。懐かしい九大での思い出話や近況 よるスピーチを引き出して盛り上げてくれ 司会は、ベテランの北野嘉文

学生歌「松原に」の大合唱で幕を閉じまし の熱いエールが送られ、同窓生全員による OBにより関西の地から九州大学に向けて 締めくくりはいつものように、応援団 (昭和4年法学部卒)関西同窓会幹事長 岡政徳

「写真でみる九大百年」展